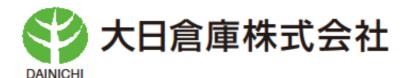
# 46期活動計画



# 经営理念

動し物流の発展に貢献することで信頼 される企業を目指します。 私 ち は感動創造企業として自ら感

創造」新しい物流をつ 事業を通じお客様が感動するような くり出す。

お客さまと共に活動し、 わかちあう。 感動と喜びを

ら信頼され収益を上げる。 物流が発展することで、 私たちはお客様か

# 組織の変革

2010年4月末(45期旧組織体制)

運輸部、京都共配、大阪共配、古川橋営業所と各事業ごとに 担当役を任命し運営してきました。

2010年5月1日 (46期新組織体制) 京都、大阪、それぞれの地域を統括して組織のスリム化を図り 各、統括担当を任命して運営します。

#### 46期 新組織図

本 社 取締役会 専 経営管理部 社 長 営業推進部 務 京 京都共同配送センター 都 システム事業推進部 統 括 京都運輸部 大阪運輸部 大 阪 大阪共同配送センター 統 古川橋営業所 括 品質管理部

- ●経営検討会
- ●資金繰検討会
- ●営業報告検討会

- ●業務推進活動
- ●情報管理活動
- ●品質管理活動
- ●安全管理活動
- ●現場営業活動
- ●勤怠管理活動

本 社

代表 取締役

青井一彦

取締役 専務

大木 巌

財務管理部

取締役 部長

上条正芳

営業推進部

取締役 部長

宮嶋勝則

# 組織編成2

#### 京都統括

全社業務推進 システム推進主幹 取締役 部長 尾川原和彦

京都運輸事業(運輸主幹)

課長 運行管理責任者 営業担当 岸本 誠

主任 運行管理補

酒井哲也

品質管理担当

田頭浩幸

京都共同配送センター

係長 業務推進担当

玉利康人

リーダー 品質・業務推進担当 市丸紀美広

リーダー 品質・業務推進担当 安倉和彦

リーダー システム推進担当 柴田貴史

リーダー システム推進担当 福井 悟

リーダー 品質・業務推進担当 富田辰雄

# 組織編成3

#### 大阪統括

全社品質管理 勤怠管理主幹

部長 山根幸太

大阪共同配送センター

センター長 業務推進 営業担当 北畠誠三

リーダー 品質・業務推進担当 池田政彦

リーダー システム推進担当 中野真文

古川橋営業所

所 長

和地永司

副所長

工藤克毅

経営検討会 期首立案の経営計画と実績とを比較し経営検討する。 比較検討の結果、不備がある場合短期改善を実行する。

資金繰り検討会会社の資金状態を確認して資金繰りを決定する。不足の場合資金を確保して資金補充を実行する。

・営業報告検討会議 営業推進部と現場営業が中心となり営業活動報告と営業戦略 を立て活発な営業活動を実行して新規受注を狙う。

### 現場活動内容1

#### 業務推進活動

- ・主幹長を中軸に現場の業務推進担当者を選任し具体的に 推進活動する。
- •業務を合理的に運営し確実に利益を上げる。
- 業務の無駄を見つけ、改善を実行して作業の効率化を図る。
- ・原価、利益の見える化を図り業務改善をする。

#### 情報管理活動

- ・業務推進活動の一環として情報管理活動をする。
- ・コンピューター・インターネット・携帯電話、をフルに活用し情報処理や通信を行い業務効率化と、業務状況の見える化を図る。
- インターネットを通じ、お客様に私たちの活動を見てもらう。

# 現場活動内容2

#### 品質管理活動

- ・私たち大日倉庫の品質保証の一環として、品質管理担当者を中軸に全員で活動する。
  - (事務、入庫、在庫保管、物流加工、出庫、輸送、搬入、設置)物流業務全般の品質を向上させることを目的とします。
- ・荷主様の要求に合った品質の物流サービスを合理的に 実行する。

#### 安全管理活動

- 労働災害、交通事故、起きてからでは遅い。私たちは常に安全を優先し事業活動をします。
- 作業中のヘルメット、帽子、安全靴、作業服、は必ず着用する。
- デジタルタコグラフを活用した安全運行、経済運行の徹底。

# 現場活動内容3

#### 勤怠管理活動

主幹担当者を中軸として勤怠状況を段階的に改善する。 時間外労働問題・有給休暇の問題・代休の問題 勤怠評価問題・給与基準の見直し。

#### 営業推進部

・企画、開発と維持管理営業を担当し全社の営業活動の中軸。

#### 現場営業活動

- ・営業推進の一環として、各部署で担当し業務活動を通じた 即効性のある営業活動を実行する。
- 営業推進部とコミットし新規受注を狙い活発に活動する。

# 社員集会の実施

- ・活動の結果と、結果から見えてくる課題を周知、共有するために社員集会を5月、8月、11月、2月の四半期ごとに開催する。
- 取り組むべき課題を周知、共有して事業に取り組み、私たちの 最終目的である利益を必ず上げることを目的とします。
- ・活動結果、優秀社員については、四半期ごとに功績を称え 表彰します。